

# あくせす news

第 202 号  
2019年4月15日  
発行者  
呉市医師会病院  
地域医療福祉連携室  
あくせす

陽春の候、やわらかな春風に心華やぐ季節となりました。  
背中よりかなり大きい、真新しいランドセルで登校する子どもたちを見ると、自然に笑みがこぼれる今日この頃です。  
先生方にはいつも **あくせす** をご利用いただき、ありがとうございます。  
この度、当院に2名の新任医師を迎えましたのでご紹介いたします。  
引き続き一層のご利用・ご紹介のほど、よろしくお願いいたします。



## 新任医師紹介

さきもと ひでと

- 名前：先本 秀人（診療部長）
- 専門分野：消化器外科(特に上部)、一般外科
- 取得資格：日本外科学会 専門医・指導医  
日本消化器外科学会 専門医・指導医  
日本消化器病学会 専門医



消化器がん外科治療認定医  
日本職業・災害医学会  
労災補償指導医

- 趣味：芝生の手入れ
- 外来日：月・水曜日



4月1日より外科で勤務させて頂いております、診療部長の先本秀人と申します。これまでの20年間は中国労災病院で、乳癌・肺癌を含めた一般外科および外傷外科、その後は消化器外科(特に上部)、腹部救急外科を中心に手術を行ってまいりました。当院は慢性期疾患の高齢患者さんが中心ではありますが、手術が必要かなと思われる患者さんがおられましたら御紹介のほどよろしくお願い致します。

広町の横路小・中学校出身であり、生まれ育った呉市の医療のために引き続き貢献していきたいと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

4月1日より7年ぶりに医師会病院に勤務させていただくことになりました。大学院を卒業してすぐ、平成21年から25年までの4年間お世話になり、大腸肛門疾患に留まらず、臨床の楽しさ難しさを勉強させていただきました。その後、厚生連尾道総合病院、JR広島病院を経て戻ってまいりました。会員の皆様にはご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

最近、10歳の息子の影響で釣りにはまっております。どこかいいポイントがありましたらそちらもご指導お願いいたします。

よしだ まこと

- 名前：吉田 誠（外科部長）
- 専門分野：消化器外科  
大腸肛門外科  
内視鏡外科
- 取得資格：日本外科学会 専門医  
日本大腸肛門病学会 専門医・指導医  
日本がん治療認定医機構



がん治療認定医

- 趣味：釣り
- 外来日：火・木曜日



### ★3月1日～3月31日★

※届出日数(地域包括ケア病棟、障害者病棟等を除く)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
136.6人	66.0%	16.7日	67人	133人



# 大腸憩室症について 本邦のガイドラインと 当院の現状



おんじ けいいち  
内科部長 蔭地 啓市

近年、本邦では大腸憩室の保有率が上昇し、大腸憩室症（憩室出血や憩室炎）を診療する機会が増加しています。2017年には一般社団法人：消化管学会よりガイドラインが作成されており、広く普及しています。今回、大腸憩室症ガイドラインの一部と当院の現状を報告させていただきました。憩室症のガイドラインは日本消化管学会 web などでご参照いただけたら幸いです。

当院における憩室出血、憩室炎について、2013年1月から2017年12月までを対象に検討させていただきました。

まず、憩室出血の患者数、年齢、憩室出血既往、基礎疾患、観察期間、Hb値、輸血例は（図1）になります。NSAIDsや抗血小板薬を服用されていた患者さんは5/16（31.3%）（図2）、治療に関しては、当院では14/16（87.5%）が自然止血されています（図3）。再発に関しては、5/16（31.3%）で再発を認め、期間中に3回再発された患者さんもおられました（図4）。



## 【図1】 大腸憩室出血(当院)

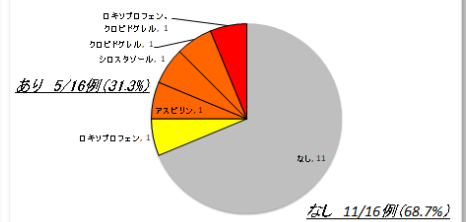
対象：2013年1月から2017年12月までに当院で消化管出血を認め、少なくともCSを施行し、診断に至った16名

患者数	16名 (MF=9:7)
年齢	80.6 ± 7.4歳 (70-91歳)
憩室出血既往	3/16名 (11.5%)
基礎疾患	10/16名 (62.5%) (高血圧7, 脳梗塞3, 糖尿病1, 高脂血症2)
観察期間	27 ± 17.1ヶ月 (3-51ヶ月)

貧血・Hb値	10.6 ± 2.2 g/dl (7.2-14.2 g/dl)
輸血例	4/16名 (25%)

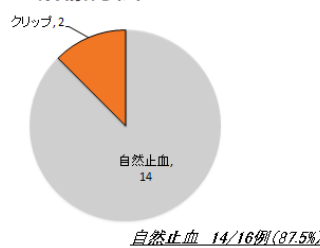
## 【図2】 大腸憩室出血(当院)

NSAIDs、抗血小板薬、抗凝固薬の服用（計16名）



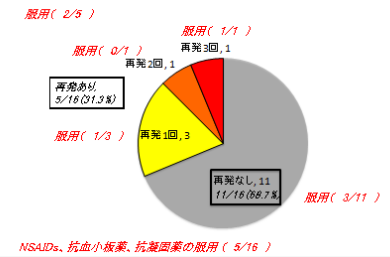
## 【図3】 大腸憩室出血(当院)

治療方法（計16名）



## 【図4】 大腸憩室出血(当院)

再発について（計16名）



## 【図5】 大腸憩室炎(当院)

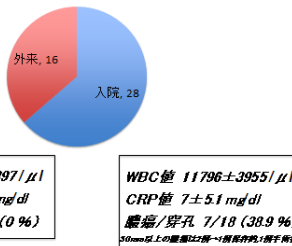
対象：2013年1月から2017年12月までに当院で外来/入院診療を行い、少なくともCT/TUSを施行し、憩室炎との診断に至った44名

患者数	44名 (MF=25:19)
年齢	58 ± 19歳 (16-95歳)
憩室炎既往	5/44名 (11.3%)
基礎疾患	14/44名 (31.8%) (高血圧12, 糖尿病6, 高脂血症5, 心疾患2)
観察期間	27.7 ± 17.5年 (1-55ヶ月)

WBC値	10263 ± 4137/μl (3000-19300/μl)
CRP値	5.9 ± 5.1 mg/dl (0-21 mg/dl)

## 【図6】 大腸憩室炎(当院)

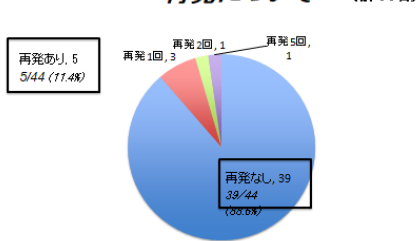
外来：入院（計44名）



WBC値	7580 ± 2897/μl	WBC値	11796 ± 3955/μl
CRP値	3.9 ± 4.5 mg/dl	CRP値	7 ± 5.1 mg/dl
膿瘍/穿孔	0/16 (0%)	膿瘍/穿孔	7/18 (38.9%)

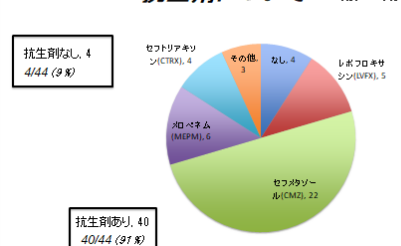
## 【図7】 大腸憩室炎(当院)

再発について（計44名）



## 【図8】 大腸憩室炎(当院)

抗生剤について（計44名）



次に、憩室炎の患者数、年齢、憩室炎既往、基礎疾患、観察期間、WBC値、CRP値は（図5）になり、外来と入院の割合は16:28、それぞれの所見は（図6）になります。再発に関しては、5/44（11.4%）で再発を認め、期間中に5回再発した患者さんもおられました（図7）。当院での治療では抗生剤：セフトラゾールでの治療が半数を占めました（図8）。

当院では診断、治療に対して、内科のみならず外科、放射線科と密に連携をとりながら診療を行なっております。今後も消化管疾患の質の高い診療に努めてまいりますので、ご紹介のほど、よろしくお願ひします。



市医師会病院 地域医療福祉連携室 **あくせす**

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通)  
FAX (0823) 32-7507

院長 中塚 博文 室長 中間 千穂 事務 中野 浩美 事務 石坂 梨恵  
MSW 森下 香織 MSW 萩山 直子 MSW 菅原 淳子 MSW 巻幡 成実